



[https:// library.town.yakage.okayama.jp/](https://library.town.yakage.okayama.jp/)

「夏はよる。月の頃はさらなり、闇もなほ、ほたるの多く飛びちがひたる。また、ただひとつふたつなど、ほのかにうち光りて行くもいとをかし。雨など降るもをかし。」枕草子で清少納言が好んだ夏はちょうど今の季節にぴったりです。梅雨入り前後、雨の翌日はほたるが飛びやすいそう。ほたるを楽しんだ後、しっとりとした五月雨の夜にはおうちでゆったり読書をお楽しみください。

## 四季を彩る日本語

参考：「日本の歳時記」

### ※ 螢 (ほたる)

夏の宵、水のほとりを明滅しながら飛び交う。宇内地区・清流で見られる源氏螢は日本でいちばん大きな螢。やや小さな平家螢は池や沼などにいる。

### ※ 青葉木菟 (アオバズリ)

フクロウの仲間。繁殖のため青葉が繁るころ飛来することからこの名がついた。全長約30センチ。町内では、毎年山田小学校の梅檀せんだんの木に飛来。子どもたちに見守られながら子育てをする。

### ※ 紫陽花 (あじさい)

「あぢ」は「集まる」、「さい」は「藍色」を意味する言葉。名が表わす通り小さな花で手毬のような形を作り、密集して咲く。ただ、花のいろは常に藍色とは限らず、根を張った土の質で変わる。また開花してから徐々に色を変えていく。



## くらしに 知恵袋

### 雨の日の泥はねは乾かして吸う

雨の日などズボンのすそに泥が跳ねてしまったら、ドライヤーでよく乾かすか、翌日まで完全に乾くのを待ちます。その後掃除機で乾いた泥を取り除きます。とれなかったものはブラシで払い落としましょう。最後に少量の泥が残ったら湿ったタオルでたたいて汚れを浮かせます。乾く前に水で濡らしてしまうと泥が繊維に広がって逆効果になってしまうので気をつけましょう。

(参考：「達人おばあちゃんの家事術」)

## 旬 自然な手当と常備薬

### ※ 梅肉エキス：青ウメの果汁を煮詰めたもの「食中毒・下痢止め」

は強い病原菌を数分で殺し、殺さなくてもよい腸内常在菌は効かないという面白い特性を持っています。その他の加工品にも多くの薬効がある梅。今年は、味わうだけでなく薬としても活用してみませんか。

### ※ 梅干しの貼り薬「肩こり」

梅干しの肉を練り、ガーゼに塗って肩に貼る。

### ※ 花の粉末：木の下にビニールを敷き、集めた花を乾燥・粉末に「嘔吐止め」

小さじ1/2〜1を白湯で飲む。「しみ・そばかす消し」：小麦粉と水で練ってパックにする。

(参考：「うかたま vol. 27」)

## チケツト発売中!

### 東日本大震災・熊本地震 被災地復興支援

## チャリティ コンサート

7月18日(月/祝) 14時開演

※ やかげ文化センターホール

※ 入場券：1000円(全席自由)

入場チケット代金および当日いただいた募金は

矢掛社会福祉協議会を通じ

日本赤十字社に寄付します

※ 詳しくはチラシをご覧ください



## ともしびび 歌声

## コンサート

7月3日(日) 14時開演

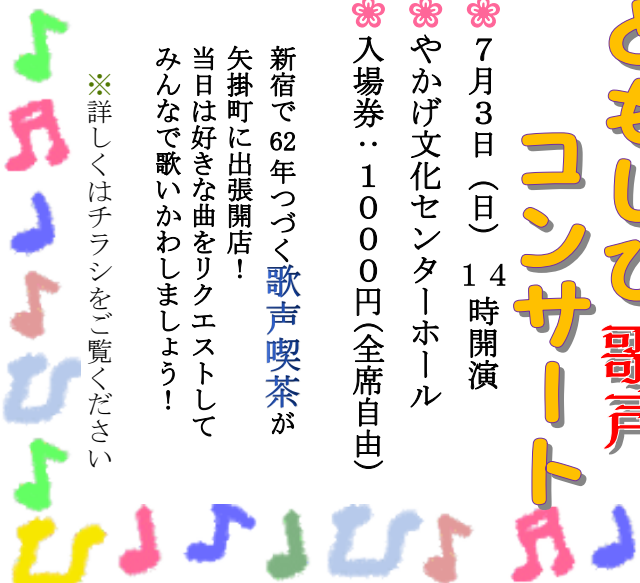
※ やかげ文化センターホール

※ 入場券：1000円(全席自由)

新宿で62年つづく歌声喫茶が矢掛町に出張開店!

当日は好きな曲をリクエストしてみんなで歌いかわしましょう!

※ 詳しくはチラシをご覧ください



# どっかつカレンダー



## 水無月

【見 る】杜若(かきつばた)、菟陽花(あじさい)  
 【味 わ る】新生巻、さくらんぼ、鰯烏賊(すまめいか)、青梅(あおうめ)  
 【香 る】梔子(ぢない)、枇杷(びわ)、泰山木(たいさんぼく)

参考:『12か月のきまりごと歳時記』

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			<b>写真の日</b> 創刊90周年 カメラと写真の雑誌 「アサヒカメラ」 朝日新聞出版 雑誌	<b>長崎港開港</b> 開国が、攘夷が 激動の時代を進む 『開港』 佐伯 泰英/著 講談社 BFサ	<b>ムーミンの日</b> 多彩な創作世界 『ムーミンを 生んだ芸術家 トウ・エ・ヤンソン』 富原 真弓/著 949.8ト	<b>虫の日</b> 特異な生態 『世界の珍虫 101選』 海野 和男/著 誠文堂新光社 486ウ
5	休館日 6	7	8	9	PICK UP! 10	11
<b>プロポーズの日</b> 史上最大のドッキリ 『名も無き世界の エンドロール』 行成 薫/著 集英社 Fユ	<b>かえるの日</b> かえるの目を通して 語られる世界情勢 『カエルの楽園』 百田尚樹/著 新潮社 Fヒ	<b>計量記念日</b> データ社会を生き抜く 『統計学が最強の 学問である』 西内 啓/著 ダイヤモンド社 350.1ニ	<b>成層圏発見の日</b> われわれは孤独か 『地球外生命』 長沼 毅/著 井田 茂/著 岩波書店 440ナ	<b>ロックの日</b> トリックスターの 核心に迫る 『ボブ・ディラン』 湯浅 学/作 岩波書店 767.8ユ	<b>時の記念日</b> いま大切なのは、小さな 本当と、小さな夢一。 『夕暮れの時間に』 山田 太一/著 河出書房新社 914.6ヤ	<b>傘の日</b> 青年が夢見た理想 『傘の自由化は 可能か』 大崎 善生/著 角川書店 914.6オ
12	休館日 13	14	15	16	17	18
<b>恋人の日</b> 春樹が選んだ世界 のラブストーリー 『恋しくて』 村上 春樹/編訳 中央公論新社 908.3コ	<b>はやぶさの日</b> 偉業の舞台裏 『はやぶさカ』 川口淳一郎 /ほか監修 学研パブリッシング 538.9ハ	<b>花の日</b> みなしごと家族 『花のベッドで ひるねして』 よしもとばなな/著 毎日新聞社 Fヨ	<b>暑中見舞いの日</b> 手紙をきれいに書くコツ 『手紙・はがき の書き方』 TOSS/著 タラント 81ト	<b>和菓子の日</b> 謎めいたお客さんの 行動の真相 『和菓子のアン』 坂木 司/著 光文社 Fサ	<b>おまわりさんの日</b> シリーズでどうぞ 『ボクの町』 『駆けこみ交番』 乃南 アサ/著 毎日新聞社 Fノ	<b>おにぎりの日</b> 「肉巻きおにぎりの 青春」収録 『恋の病は食前に』 拓末 司/著 朝日新聞出版 Fタ
PICK UP! 19	休館日 20	21	22	23	24	25
<b>父の日</b> 最期に寄り添った 3年半の記録 『父の生きる』 伊藤比呂美/著 光文社 915.6イ	<b>ヘパードの日</b> 薬草魔女ビッケルさん 『薬草魔女の ナチュラルライフ』 ガブリエレ・ビッケル/著 東京堂出版 499.8ヒ	<b>国際ヨガの日</b> ゆる〜い気持ちで、のんびりと 『おうちでできる！ はじめての ヨガレッスン』 学研パブリッシング 498.3フ	<b>かにの日</b> 捕食者と餌との間に 生まれた友情 『かにみそ』 倉狩 聡/著 KADOKAWA Fク	<b>オリンピックデー</b> 真の愛国者の生涯 『東京にオリンピック を呼んだ男』 高杉 良/著 光文社 Fタ	<b>UFOの日</b> 18歳、月夜の かなしみと妄想 『無花果とムーン』 桜庭 一樹/著 角川書店 Fサ	<b>住宅デー</b> めざまし暮らしやすく おしゃれなお家 『SUMAI NO SEKKEI』 『PLUS Living』 『ELLE DECO』 雑誌
26	休館日 27	28	29	30	<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">ちよつと豆ちしき</p> <p style="text-align: center;">* 夏至 * 一年で昼が最 も長く、夜が短いころ。今年 は6月21日。岡山での日 の出は4:52、日の入りは 19:21(国立天文台:今日の暦)</p> </div>	
<b>露天風呂の日</b> 日帰りからOK♪ 『るるぶ決定版！ 温泉&宿 関西、中国、四国』 JTBパブリッシング 291.6ル	<b>演説の日</b> 良くも悪くも… 『世界を動かした 21の演説』 クリス・アポット/著 英治出版 304ア	<b>芙美子忌</b> (林芙美子 1951) 放浪記・自伝 『作家の自伝 17』 林芙美子/著 日本図書センター 910.2ハ	<b>星の王子様の日</b> フランス語付き 新訳・星の王子様 『プチ・フランス』 サン・テグジュペリ/著 グラフ社 953.7サ	<b>アインシュタイン記念日</b> 稀代の科学者を軸 にたどる画期的通史 『エネルギーの科学史』 小山 慶太/著 河出書房新社 501.6コ		

PICK UP本

『夕暮れの時間に』6月10日は時の記念日



いま大切なのは、小さな本当と、小さな夢一。11歳で敗戦をむかえ、家庭や日常を描く名作ドラマの数々を世に届けた脚本家はこの10年、何を見、何を思ってきたのか。深く胸に沁みるエッセイ。

『父の生きる』6月19日は父の日



老いてなお生きる苦しみを、死と向き合う寂しさを、娘に打ち明ける父であります。詩人・伊藤比呂美が、遠距離介護を通し、親の最期に寄り添った3年半の記録。